

## JARL QRP Club 延べ登録会員数1,000超え記念

### 2013年 QRP コンテスト規約

#### 1. 開催日時

2013年11月4日(月) 0900JST ~ 2100JST

#### 2. 主催

JARL QRP Club (JARL神奈川県支部登録クラブ No. 11-4-15)

#### 3. 参加資格

- ・ QRPで運用する国内のアマチュア無線局  
(JARLではQRPを空中線電力5W以下と定めています)  
\*ATT, Power Control等で出力を低減したものも認める。  
\*個人局またはクラブ局を一人で運用するものとする。  
\*特別記念局、特別局(8N,8J,8Mで始まる局)は、エントリーされてもチェックログとして扱う。

#### 4. 交信相手局

QRPで運用する国内のアマチュア無線局

#### 5. 使用周波数、電波形式

- ・ 1.9~50MHzの各アマチュアバンド (※JARL主催コンテスト周波数に準ずる)
- ・ 電信、電話

#### 6. 参加部門

(1) 電信電話シングルバンド部門 種目:各バンド自作機/一般

(2) 電信電話マルチバンド部門 種目:マルチバンド自作機/一般

バンド	種目	コード ナンバ ー
1.9MHzバンド	自作機	H19
	一般	G19
3.5MHzバンド	自作機	H35
	一般	G35
7MHzバンド	自作機	H7
	一般	G7
14MHzバンド	自作機	H14
	一般	G14
21MHzバンド	自作機	H21
	一般	G21
28MHzバンド	自作機	H28
	一般	G28
50MHzバンド	自作機	H50
	一般	G50
マルチバンド	自作機	HM
	一般	GM

尚、自作機部門とは、送信部、受信部何れか一方または両方が「自作」または「キット」であるものを言う。

一般部門とは、送信部、受信部共に「メーカ製」であるものを言う。

「自作」、「キット」、「メーカ製」の詳細な定義は次項参照。

#### 7. 定義

- ・ 自作とは、頒布された部品や回路基板を全く使用しないで参加者自ら作製したものを言う。
- ・ キットとは、頒布された部品や回路基板を使用し、参加者自ら作製したものを言う。
- ・ メーカ製とは、以下の物を言う。
  - アマチュア無線機器メーカが製造したもの。
  - 参加者以外が作製したもの。
  - 半田付せずに組み立てることができるキット。

- ・ 送信部にはエレキ、メモリーキーヤー、マイクアンプ、アンテナチューナーを含めない。また、受信部には、オーディオアンプ、外付けRFプリアンプ、アンテナチューナーを含めない。

## 8. 交信方法

### (1) 呼び出し

電話の場合 …… CQ QRP コンテスト

電信の場合 …… CQ QRP TEST

尚、呼び出し符号への/QRPの付加は参加局のポリシーに委ねる。

### (2) 交換ナンバー

- ・ RS(T) + 自局の運用場所を示す都府県支庁ナンバー + QRPを表すアルファベット「P」
- ・ RSTが「599」、自局の運用場所が北海道石狩支庁「106」のコンテストナンバーは「599106P」とする。
- ・ RSが「59」、自局の運用場所が神奈川県「11」のコンテストナンバーは「5911P」とする。

## 9. 得点

完全な交信を得点とする。

- ・ 自局の送信部が自作の場合 5点、キットの場合 2点、メーカー製の場合 1点
- ・ 自局の受信部が自作の場合 5点、キットの場合 2点、メーカー製の場合 1点

例えば、

自作の送信部および受信部を用いて交信した場合、得点は5点+5点=10点

キットの送信部とメーカー製の受信部を用いて交信した場合、得点は2点+1点=3点

メーカー製の送信部、受信部を用いて交信した場合、得点は1点+1点=2点

- ・ **同一バンドでの同一相手局は、電信、電話それぞれ1交信を得点として計上出来る。**

## 10. 交信上の禁止事項

- ・ JARLコンテスト規約に準ずる。
- ・ 自作機種目では、適宜、送信部、受信部を変えることができるが、送信部、受信部の両方ともメーカー製を用いて交信してはならない。また、送信部、受信部の変更に伴い、得点の定義に従って、得点を変えなければならない。

## 11. マルチプライヤー

相手局の運用場所を示す異なる都府県支庁。但し、バンドが異なれば同一都府県支庁であってもマルチプライヤーとする。

## 12. 総得点の計算方法

〔当該または各バンドにおける得点の和〕 × 〔当該または各バンドで得たマルチプライヤーの和〕

## 13. 書類提出時の注意事項

- ・ 電信電話シングルバンド部門、電信電話マルチバンド部門は、何れか一方の部門に申請できる。
- ・ 電信電話シングルバンド部門は、複数の種目に参加し申請できるが、同一バンドにおいては自作機/一般何れか一方に申請できる。
- ・ 電信電話マルチバンド部門は、自作機/一般何れか一方の種目に申請できる。
- ・ 複数の種目に申請する場合は、種目ごとの書類を提出すること。
- ・ クラブ局での参加は個人のコールサインまたは運用者を明記のこと。

## 14. 書類の提出

- ・ 提出する書類はログ、サマリーシートおよび補助資料。
- ・ 補助資料は、自作機の場合は送信部または受信部の内部が判る写真とする。
- ・ キットまたはメーカー製の場合は機種名をサマリーシートに記載すること。
- ・ ログの提出は電子メールを推奨する。
- ・ 電子ログはテキスト形式でのメールの本文とし、メールのサブジェクト(タイトル)は、提出局のコールサインとすること。
- ・ サマリー、ログシート形式：JARL形式を推奨するがCabrillo形式も可
- ・ 参加されたご感想等を是非お送り下さい。運用風景などの写真等大歓迎です。送信部、受信部の写真ともに公式サイトに掲載いたします。

## 15. 書類提出締切

11月24日 (郵送は必着)

メールアドレス: contest(アット)jaqrp.org (アット)は@に置き換える)

郵送: 〒064-0803

札幌市中央区南3条西20丁目1-1-801

大久保 尚史 JA8DIQ (2013年QRPコンテスト係)

16. 賞

- ・ 各種目の第一位に賞状を授与する。
- ・ 同点時は、最終交信時間が早い方とする。
- ・ JARL QRP Club延べ登録会員数1,000超えを記念して、総得点が1,000点以上の局に記念品を贈呈する。
- ・ 本コンテスト規約に違反したものは失格とする。

17. 結果発表

- ・ 公式サイトにて結果を発表する。
- ・ 提出するログに返信用封筒(郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号の封筒)と90円切手を同封した局には結果、コメント集を送付する。

<公式サイト> JARL QRP Club <http://www.jagrp.org/modules/Contents/index.php?id=24>